

2017年
12月号

通巻53号

地域だより みんなのなかじま

発行;中島自治会 会長;高梨 勇(電話 85 - 7422) 自主防災訓練

回
覧

中島地区のちょっとした出来事、行事、活動をお知らせします。皆さんの暮らしの写真撮らせてくださいネ!

11月26日・日枝神社で行われた防災訓練はこんな訓練だった!

今年は「中島の災害リスクと防災知識を身につけよう」と題して洪水がテーマ。このところの台風や集中豪雨などによる雨の降り方を考慮した避難を提案した。

★★★9時から受付。防災倉庫別に地域割りをを行いグループを設定・・・初の試み
顔なじみと出会い、一緒に訓練を受ける。また、新しい近所の繋がりを作るために

グループ別に避難者カードを受付



参加賞の防災品のイラスト手拭い



石田講師



全参加者数	110名
安否確認された組数	70%
各家庭の掲示	35%
防災リーダー参加人数	93%



1. 各組長による“災害時の安否確認「黄色い布」”の掲示（各家庭で8:30～）

いろいろな掲示、布は何でも黄色であればOK。
結果はまだまだ、浸透するための何かを考えよう!



2. 講話「改訂された浸水域と避難に必要な各家庭の計画表(マイタイムライン)作り」

改訂された洪水ハザードマップ(相模川の氾濫)を見ると中島地区の多くが3位位は浸水し、さらに水が引くまでの時間が3日以上と示されたため、改めて避難の時期と場所、方法について市の防災対策課職員2名から学んだ。

相模川洪水ハザードマップは12月15日に広報誌と一緒に配布されました。一部破れやすいとのことで再配布の予定です



3. 車イスの操作体験や防災倉庫の見学

介助型の車イスを2台購入。洪水を想定して自治会館に配備。26日は 10 台の車イスを使い段差やジャリ道も体験する。講師は特養・湘南ベルサイドの石田さん



3つの防災倉庫の位置や中の備品の説明を行った。
食料品はゼロ。命を助け、避難するための装備品を収納。
現在、二ツ谷付近に4番目の防災倉庫を設置するため…
土地、2~3㎡を探しています



4. 中島の防災力(個人宅に設置する移動消火ホース)・見て歩きと旧堤防洪水危険箇所トイレや防寒シート、発電機などの展示と防災器機の使い方など



5. 災害時の炊飯訓練

婦人会はガスの点火時の注意点を確認、炊飯はおてのもの



洪水監視カメラ



頼もしい防災リーダー28名。災害時は特に女性の役割が大きい。2月初旬、養成講習会開催予定。
受講者募集中…詳しくは自治会まで



訓練終了後、評議員、防災リーダー、婦人会の参加で“振り返り”を実施。参加して良かった防災訓練を目指